

森の中に白い物体が2個、ころがっていました。何かの木の実だと思い近づいてみると、木の実ではなくキノコでした。これはホコリタケというキノコでした。

キノコというと、茎（柄）の上に傘があるシイタケのような形を思い浮かべるとと思いますが、ホコリタケは非常に変わった形をしています。茎（顕花植物の茎とはちがいます）も傘もなく、地面からいきなり丸い子実体が発生しています。しかもこのホコリタケはまだ若い子実体でした。実はホコリタケの子実体は成熟すると内部がボロボロに崩れてしまい、それまでの期間が非常に短いので、このような若い子実体を見かけることはあまりありません。私は少しじっくりと観察してみることにしました。その写真は次回紹介します。

(2023年9月下旬／北軽井沢)

